

男女共同参画の視点を意識しながら、日々の生活・活動を！！

滋賀県立男女共同参画センターに勤務することになって、2年目になりました。

当センターの勤務になるまで、女性分野や男女共同参画分野の業務を直接担当したことはありませんでしたが、男女共同参画については、少しは理解しているつもりでいました。しかしながら、その理解が全く不十分であったことをこの1年の勤務で痛切に感じました。当センターで、主催講座に参加したり、講師の皆さんとお話しさせていただく中で、ジェンダーの視点を強く意識するようになりました。日々生活している中にも、様々なジェンダーによる課題があることに気付かされます。日々、気付きと学びの毎日です。

男女共同参画社会基本法が施行されて丸15年、滋賀県の男女共同参画推進条例が施行されてから丸12年が経ち、男女共同参画の促進を図るための各種の取り組みを進めていますが、私たちの心の中には、まだまだジェンダーの壁があるように思います。

当センターでは、より多くの県民の皆さんに、身近にある男女共同参画の視点を意識してもらうため、「さんかく塾」を開催しております。例えば、7月には、防災を切り口にした講座を開催しました。受講者の皆さんには、避難所での様々な生きづらさを抱えた人たちの事例から、男女共同参画の視点が、地域づくりや男女を問わず全ての人たちの幸せにつながっていく、大切な視点であること等、多くのことに気付き、学んでいただけたことと思います。次は、この学びを自らの実践に結び付けていただきたいと思います。

男女共同参画社会の形成に向けた道は、まだまだ遙か遠く、といったところですが、一人ひとりが日々の生活や様々な活動の中で、常に男女共同参画の視点を意識して行動することで、その道が開けていくと信じています。



森井一夫



《男女共同参画推進》 山仲善彰野洲市長を訪ねて

Q) 男女共同参画社会について

A) 一人一人が大切にされ、生き生きと暮らせる社会。女性の意見をまちづくりに生かすことは、男女共同参画社会の実現だけではなく、まちの活性化につながる。昨年の選挙で20名の市議会議員のうち、4名の女性が当選され期待している。

Q) 野洲市の男女共同参画の取り組みについて

A) 平成16年に「野洲市男女共同参画条例」に定める基本理念に基づき、平成18年度に策定した野洲市男女共同参画行動計画が4年目を迎えた。あらゆる分野への男女共同参画、誰もが安心して働き暮らせるまちづくり、男女共同参画を進める意識づくり等について、成果が見えてきている。男女共同参画プランやす協働委員会と協力し、様々な取り組みを実施している。

Q) 特に重点を置いている事項について

A) 野洲市では毎年1、2回、審議会等の女性委員の割合調査(市議会・行政委員会・自治会含む)を実施している。平成26年1月1日現在34.3%となっており、40%を目指している。また、職員の休業等による欠員は臨時職員ではなく、正規職員で対応できるように定数増を議会の承認を得、準備している。高齢社会が進む中、当市では人の人生について行政が最後まで責任を持つことが大切であると考えている。

Q) 女性職員の管理職への登用は？

A) 平成26年4月現在 全職員…401名(うち女性154人38.4%) 管理職員数…110名(うち女性25人22.7%) ※公立学校、幼稚園の職員は除く



山仲野洲市長

Q) 今後の取り組みについて

A) 昨年に比べ、今年度管理職の女性の割合が上昇した。性別に関係なく、職員の能力に応じた登用に努める考えである。当市では、学童保育施設の充実を図り、待機児童0を達成した。子育てに一番の市を目指した対応をしていく。男女共同参画社会は誰もが幸せに暮らせる社会である。子どもからお年寄りまで幅広い視点で生活・就労支援などを進めていく。

Q) 女性へのメッセージをお願いします。

A) 住みよい野洲市のまちづくりのためには、男女双方の視点を生かすことが大切です。積極的に自治会や市の審議会等に参画していただき、貴重な意見を発して欲しいと思います。能力を発揮する場は増えている。気負わず、社会参画されることを願っています。

人権の尊重と真の男女平等の達成・新たな価値観・社会システムの創造

※取材者(廣幡理事)からひとこと※ ご縁があって8年間野洲市男女共同参画審議会の委員を務めさせて頂きました。市長は毎回開始から終了までおられ、部長さん方も全員出席です。この様な取り組みは他市では見られず、野洲市の男女共同参画実現への熱意を実感しました。

I YOU 淡海

いつでもどなたでもご入会いただけます

男性・女性が家庭で地域で職場で活躍するためには、環境を整えることが大切です。課題の解決にみなさんのお力をお貸しください！

- 1) 入会金 1,000円
2) 年会費 個人3,000円 団体3,000円
3) 賛助会員(年) 一〇2,000円

地域での男女共同参画の取り組みや、本誌へのご意見などご投稿をお待ちしております。下記までご連絡ください。

(発行元) 〒523-0891 近江八幡市鷹飼町105-2 特定非営利活動法人 男女共同参画をすすめる会・I YOU 淡海 事務局 Tel. Fax 0748-37-8615





クローズアップ 高齢者社会 この施設



今年4月にオープンした近江八幡市に唯一の施設として
注目を集めている、保健施設『エスペラル近江八幡』を訪問。
施設見学と事業内容、利用状況等をお聞きした。

Q) 介護老人保健施設とは？

A) 病院に入院するほどでもないが看護、介護、機能訓練が必要とされる人々のために、日常生活の自立を目指し一日も早く家庭復帰できるよう手助けをする、中間施設である。

Q) 施設概要について

A) 名称 介護老人保健施設エスペラル近江八幡 場所 近江八幡市大房町 1002 番地 1
事業内容 入所：短期入所（ショートステイ） 通所：リハビリテーション（デイケア）
定員 入所（開設時）120床（内認知症専門50名）51室（4人室個室）
通所定員 リハビリテーション30名 駐車場 120台

Q) 事業内容について

A) ①入所サービスは日常生活のケアを中心に機能回復訓練、レクリエーション等を通じて家庭復帰を目指し身体機能の向上及び精神の安定を図る。対象者は症状が安定期にあり、入院の必要は無いが看護、介護、機能回復訓練、身の回りの世話が必要な要介護1～5と認定された人。
②短期入所サービス(ショートステイ)は介護者が一時的に介護が難しい場合や、介護負担軽減の目的で利用。対象者は要支援、要介護1～5と認定された人。
③通所リハビリテーション(デイケア)は、自宅から昼間施設に通い、機能訓練、食事、入浴、レクリエーション等を通じて身体機能の維持や回復、改善を図る。送迎サービスがある。対象者は要支援、要介護1～5と認定された人。

Q) 医療介護事業グループの理念について

A) 多彩な医療文化の創造と、安全で良質なヘルスケアサービスの提供。心を通わせながら明日への医療シーンを創造し、家族との関わりを大切に、楽しく安らぐ日々を届ける。

Q) 利用者について

A) オープンして4か月、認知症専門病棟の入所者は女性34名男性14名（定員50名）である。親の介護のために退職を考えながら相談に来られる家族の方も多く、施設への通所、入所等の対応で多くの方が仕事を続けられている。また人数に制限はあるが、体験デイケアを実施しており、おすすめである。デイケア利用者で若年層の男性は、一度利用されると続けて利用されることが多く、特に入浴サービスが喜ばれている。

Q) 女性の管理職は？

A) 全職員 84名（内女性職員70名）
管理職員数主任以上 7名（内女性管理職員数5名）



取材を終えて

施設は5階建てで、4階は認知症専門医療室で現在満床だとの事でした。

3階、2階は以外の療養室で、空室があり見学させていただきました。所内は車いす対応でどこも広々とし、療養室は4人部屋と個室があり、個室は洗面所とトイレ付。4人部屋の間仕切りは家具調の厚みのあるつい立てで仕切られていました。食堂と機能訓練室も清潔で広々とし、車いすに乗った利用者と職員の方が楽しそうに過ごしておられました。

事務長さんの説明では、エレベーターや玄関のドアは施錠され内からは特別な職員だけが名札についた鍵で開けられ、玄関のドアは外からはいつでも開くとのことでした。

1階の、ホテルのような広いラウンジでお話を伺い、色々な工夫がされている事がよく分かりました。施設の職員は、全職員の80%以上が女性で性別に関係なく、能力に応じて登用されていました。男女共同参画社会を生き生きと、自分らしく豊かに生きるためには、健康づくりが第一で個人の努力もさることながら、周りの支援も大切です。中間施設の利用も一つの手立てとして、健康寿命の延伸につながるのではないかと思います。

平成26年度 IYOU 淡海託児サポーター養成講座終了

子育て支援の一環として、毎年託児サポーター養成講座を開催しています。本年度も下記の日程で行い、大勢の仲間が増えました！！
開催日①6月5日(木)保育の心構えと男女共同参画
②6月18日(水)障害のある乳幼児の関わり方
③7月2日(水)食物アレルギーと応急手当
④7月18日(火)乳幼児の事故対応と救命救急
⑤8月4日(月)武佐こども園見学
⑥8月20日(火)『こんなお仕事です』

5回以上受講者は、IYOU 淡海の託児サポーターとして活動していただけます。

☆参加者アンケートより☆

- ・大切な命を預かっている事を意識しながら、託児サポーターの仕事をしていきたい。
- ・こどもさんは勿論、保護者の方々にも気遣いをもって対応することを心掛けたい。
- ・今までの講座では少し荷が重い仕事・・・に思えてきて不安でしたが、保育士さんの講座で不安が解消されました。楽しく、託児サポーターとして活動できたらと思います。
- ・未来を担う子ども達がすくすく育ってくれるよう願いながら、サポーターの仕事をしています。

しが WO・man ネット講座 IYOU 講座 学ぼう・活躍しよう

もうひと花！咲かせよう Part 2

- 1回目 8月7日(木) 13:30～15:30 『男女ともに必要なマナーとは』
- 2回目 9月3日(水) 10:00～12:00 『運動が体に及ぼす効果とは』
- 3回目 10月1日(水) 10:00～13:00 『世界遺産登録の和食とは』

毎年、様々なテーマで開催します！是非参加してください。

NPO 事業関係者交流会に於いて (6月23日開催)

- ①IYOU 淡海について
 - ②実施事業の希望
 - ③その他
- についてアンケートを実施した。一部を紹介する。
・毎年入札で自分たちの雇用先が変わるので不安。
・どの仕事も長期で続けないと、利用者へのサービス向上に繋がらない。職員研修等、意欲的になるような体制を望む。
・常にメンバーが連携して働きやすい環境を作れる様に、理事さんの尽力を期待する
・女性目線の事業が中心で、男性との交流の場があればと思う。
・仕事を通じて新しい出会いがあり、人生経験も違う人たちのふれあいも楽しい。